

すみだ がわ はんらん みぜん ふせ
隅田川の氾濫を未然に防ぐいわぶちすいもん
岩淵水門を探る

荒川知水資料館

荒川の治水の歴史や、災害に役立つ情報などを発信。

右下の二次元コードから、館内の展示物や実際に使われている動画を観ることができます。

あらかわちすいしりょうかん
荒川知水資料館で
岩淵水門を学びましょう

荒川流域立体模型／荒川区周辺は地面が低く、洪水で大きな被害が予想される地域です。触って高低差を感じましょう。

青山王コーナー／荒川放水路と旧岩淵水門建設を指揮した土木技師、青山王。人力で地面を掘る際に活躍したトロッコなども展示。



荒川流水模型／模型に水を流し、水門を閉じて水位が変わっていく様子を見学。荒川の増水時、水門がどのように隅田川を守っているのかがわかります。



荒川流域航空写真図／荒川の源流・申武信ヶ岳から東京湾までの航空写真。水門を境に荒川と隅田川が分岐していることがわかります。



荒川が氾濫した場合の、各地の浸水シミュレーション動画を見られるモニター。下の二次元コードからも観ることができます。



洪水リスクや治水対策をプロジェクトマップで紹介。荒川流域の中でも荒川区を含む下流域は水が引きにくいことがわかります。



普段入ることのできない、荒川下流河川事務所の「災害対策室」。非常時には、遠隔操作で岩淵水門を閉鎖することもできます。

岩淵水門は
縁の下力持ち

川端 俊生さん

100年前にこんな
工事のできたんだ

宮川 結依斗さん

下から見上げると
大きさを実感！

大河内 優生さん

昔の人の知恵が
今も生きている！

寶島 智矢さん



いわぶちすいもん 岩淵水門(青水門)



岩淵水門上の「機械室」を特別に見学。このワイヤロープで、1枚あたり幅20m、高さ16m、重さ約214tの岩淵水門を約45分かけて下ろします。

いよいよ
水門を見に行きましょう

災害時に活躍する災害対策支援船「あらかわ号」に特別に乗せてもらい、水門をくぐりました。水門の先は隅田川。その先に荒川区があります。

新たに国の重要文化財に
指定されることになりました！
旧岩淵水門(赤水門)

8年もの工事期間を経て完成したこの水門は、役目を終えた今も地域のシンボルとして愛されています。



水位標柱／旧岩淵水門そばには、過去最大水位を示した昭和22年(1947)のカスリーン台風や令和元年東日本台風などの水位が示され、今の川面の水位と比較できます。

令和元年東日本台風で、岩淵水門が閉鎖されました(史上5回目)。水門が荒川の濁流をせき止め、隅田川を氾濫から守ったのです。

水害対策のポイント [問合せ] 防災課 内線492

水害に備えて日頃から準備をしよう！

ハザードマップで自宅周辺の浸水状況を確認するとともに、避難する際の非常用持出袋などの準備をしましょう。



東京マイ・タイムラインを作成しよう！

家族で話し合って東京マイ・タイムラインを作成し、事前に避難行動を確認しましょう。



万が一、逃げ遅れたら垂直避難！

すでに水害が発生し、命の危険がある場合は、高い建物の3階以上に至急逃げましょう。

クイズ 荒川知水資料館

Q1 浸水シミュレーションによると、荒川が氾濫した時の日暮里駅前の水位は、中型の跳び箱8段より高くなります。

Q2 昭和57年(1982)にできた新しい水門は赤色です。

Q3 荒川(荒川放水路)の下流域には、海水魚は生息していません。

答えは4面にあります